

特長

既設のビルなどへも設置が容易

通信線として電力線を使用（PLC：電力線通信）するので、各メータからの個別配線が不要

- 機器の設置がとっても簡単
- 電力線通信方式の採用で、各メータへの配線が不要！
- カンタン設置と省配線で工事が少なくローコスト。
- 増設や移設にも柔軟に対応。

この製品のお問い合わせ

FAXでのお問い合わせ：03-3443-0265

カタログダウンロード

仕様書ダウンロード

カタログのダウンロード (1178KB)

集中自動検針システム総合カタログ (6.85MB)

PLC-11 (ファイルサイズ: 1.27MB)

電力線通信（PLC）の特長

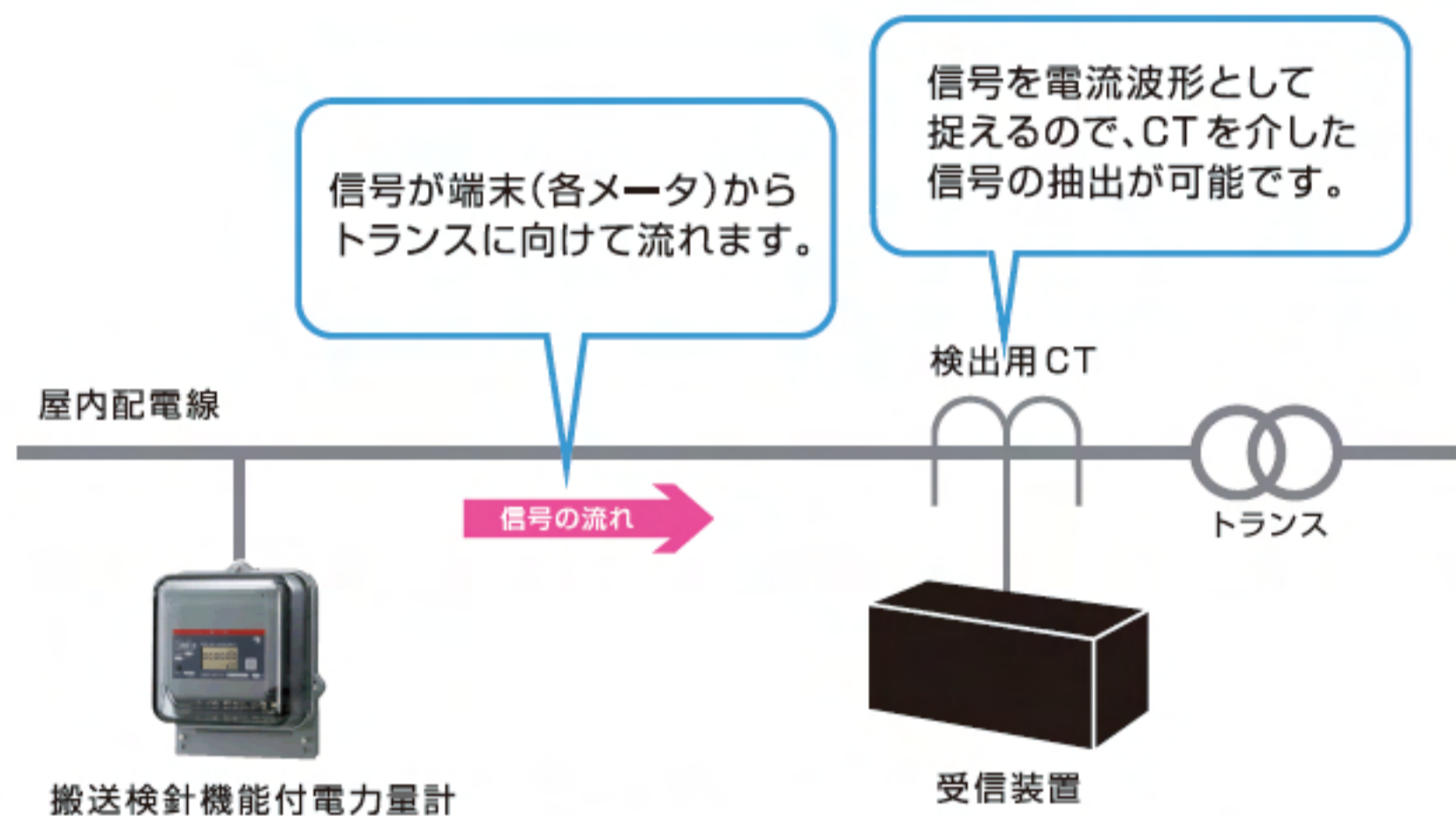
大幅な工事は不要！カンタン設置！

電気を送る電力線に、通信用の信号を乗せて送る通信手段(PLC:電力線通信)を使用します。

大崎電気工業のPLCは450kHz以下の周波数を利用した低速PLCであり、40年間の実績があります。

PLC:電力線通信とは

電気を送る電力線に、通信用の信号を乗せて送る通信手段です。



- 変復調技術を駆使して、高い耐ノイズ性能を実現しています。
- ほかの機器に与える影響がほとんどありません。
- 伝達信頼性が抜群ですので、長い距離でもきっちり信号を届けます。



システム導入上のご注意

- ノイズなどについての技術的な対策は十分に行っていますが、電源環境が相当悪い場合は信号が伝送できないことがあります。
- 医療器具など人命に関わるシステムが設置された施設などへの導入はおすすめできません。

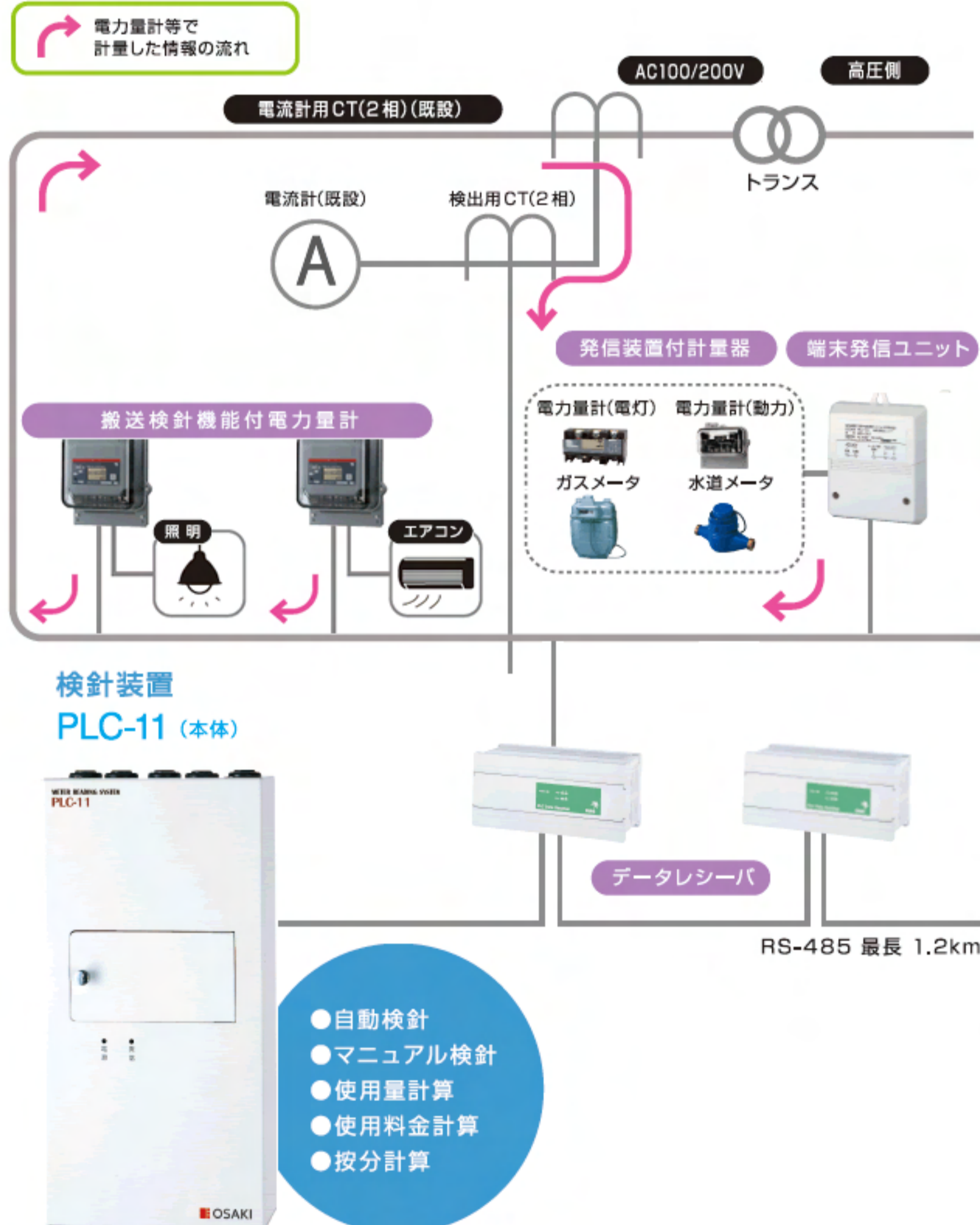
導入効果

- 営業中や休業日でも、お客さまや働いている方に迷惑をかけずに検針ができます。
- メータごとの今月・前月使用量を比較表示。異常使用量などを事前にチェックできます。
- 月途中の入・退店(室)の生産業務が任意に行え、作業の手間が省けます。
- 種別検針機能付きなので、電気や水道の検針日が異なっても簡単に対応できます。
- 大切なエネルギーの合理的管理が推進でき、経費を節約できます。
- 検針値の読み違いや転記ミスなど初歩的なミスを防ぎ、スピーディかつ正確な検針ができます。

システム構成

既設の電力線を利用

搬送検針機能付電力量計は、従来型と外形・結線が同じなので交換が簡単！データの検出は、電流計用CTなどの二次側に検出用CTをかませるだけなので、面倒な工事は必要ありません。



ホストソフトウェア

総合検針システムホスト



モニタ表示

検針装置本体の各種データ(検針値、料金やパラメータなど)の表示



請求書作成

テナント料金(固定費など)を加えた請求書の作成

パソコン

プリンタ

